

1 楠目小学校の取り組みから

本校は、児童数194人、8学級（特殊学級1学級を含む）の小学校である。

学校教育目標「人間性豊かで主体的に生きる児童の育成」を目指して、

生き生きと学び、力をつく教科・領域の学習

一人一人が輝く総合的学習「かんきょう」

子どもが創る学校生活

の3つの柱で教育活動を創造している。総合的学習に取り組み始めて6年目になる。

(1) 楠目小学校の総合的学習

本校の「総合的な学習の時間」は、学校教育目標「人間性豊かで主体的に生きる児童の育成」を目指した教育活動の中心的な役割を果たしている。子どもたちが興味・関心のあることの中から課題を見つけ、自分なりの方法で解決していく過程で、地域の人、自然、社会に生き生きとかわかっていく直接体験を重ねていくことを大切にしながら取り組んできた。この学習は児童の身の回りにあるものすべてが学習材料となる。そこで、「身の回りの人・事物・現象のすべて = かんきょう」と捉え、この時間を「かんきょう」と呼ぶことにした。

(2) 育てたい力

総合的学習で育てたい力は「感じる」「体験する」「考える」「表現する」「やってみる」「共にのびる」の6視点でおさえている。

(3) 総合的学習の授業づくり

本年度の各学年のテーマは、第1・2学年は生活科、第3学年「大すき！土佐山田」、第4学年「わたしたちの川・ものべ川」、第5学年「アクティブ」、第6学年「未来へ」である。各学年とも一つのテーマを1年間かけて追究していく。授業づくりでは、「問題解決能力を高めること」「人とかわり合う力を育てること」「十分な体験を通すこと」を重視し、子どもたちの思いや願いを大切にしながら、学級のテーマや個人のテーマを決定し、学習を進めていく。

総合的学習の時間で育てたい力

感じる 体験する

自分を取り巻く環境を知ろうとする態度
美しいものや素晴らしいものを素直に感じとる感性
身の回りの環境の中から問題に気付く力
知らないことに対する知的好奇心

考える 表現する

見通しをもち、活動を計画する構想力
課題を追究する中で、修正を加えたり変更したり拡大したりする判断力
目的に応じて知識、技能を身に付け、使う力
解決に必要な情報を集め、適切に処理し、まとめ伝える力

やってみる

自分の考えを試す力
失敗を恐れず挑戦する冒険心や探求心
実際にやってみようとする行動力
自分を認め、自分らしさに気付く力
自分を鍛え伸ばそうとする意志
自分の考えや行動を吟味する自己評価力

共にのびる

学習したことを知らせ合い認め合う中で、友達と一緒に高まり合おうとする態度
集団の中での役割を自覚し、集団を高めようとする態度
友達や地域の人と好ましい人間関係をつくらうとする態度

(4) 第4学年の実践から

テ マ・・・わたしたちの川・ものべ川

ね ら い・・・物部川を通して自分や地域を見つめていこう。

活動の流れ〔全105時間〕

活動計画	時数	活動場所	ねらい	時期
のぞいてみよう 物部川 ・地域の人の話を聞こう ・物部川で遊ぼう ・物部川の源流を探そう	4 13 10	教室 物部川 物部川	・物部川で遊んだり、見学したり、自分のやってみたいことをやるなどの活動を通して物部川存在を体感し、物部川に興味を持つ。	一 学 期
もっと知りたい 物部川 ・校区の物部川探検 ・ほかの川を見てみよう ・かかし作り「へのへのものべ」 ・海へも行ってみよう～地引き網～ ・調べようやってみよう	8 8 8 6 20	物部川 安田川 校内 鏡野公園 赤岡の浜 教室 物部川 地域	・町田堰、山田堰の川岸や川底の様子を見る。 ・物部川とまた違った安田川を見る。 ・物作りを通して物部川への思いを深める。 ・物部川が流れ込む海の様子を感じる。 ・追究したい課題を決め、解決のための見通しを持ち、友だちや地域の人とつながりを持ちながら課題を解決していく。	二 学 期
・物部川の鳥を見てみよう ・舟入川探検 わたしたちの川 物部川 ・活動をまとめる	4 6 18	物部川他 舟入川 教室 物部川ほか	・物部川や近辺の山にいる鳥を観察する。 ・山田堰から国分川までの舟入川の様子を見る。 ・自分なりの方法で一年間学習したことをまとめ、お世話になった人や保護者に対して発表する。	三 学 期

活動の実際

上井川をきれいにしよう！

～3年生総合的学習の活動より～

川干に行くとゴミがたくさんあったよ。みなでゴミ拾いをしよう！拾ってみるとなんと36袋もあったので、びっくり！魚や貝が住めなくなるよ！



のぞいてみよう 物部川

～ 4年生総合的学習～

物部川の源流を探そう！（さおりが原）



空気がおいしいね。



わき水を見つけたよ！



地面がふかふかで、
木が水を吸い上げている
音が聞こえる。

ドクン ドクン

ほかの川も見よう！（安田川）



すごく透き通っていて
川の中でアユを見つけたよ。



みんなで温泉も作ったよ。
気持ちいい～

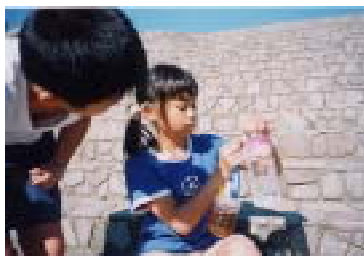
もっと知りたい物部川

一人一人が課題を持ち、似たような課題を持った友だちとグループを作り活動しました。

グループのテーマ

- * 大物を釣ろう
- * 川の変化
- * 冷泉作り
- * いかだを作ろう
- * 物部川の歴史
- * 海と川のつながり

< * 川の変化を調べた児童より >



川のきれいさを測ったよ。
CODを調べる検査をすると、
水の色がうすいピンク色に
なったのできれいだとわかったよ。

海へも行ってみよう！ ～地引き網～

海と川のちがいを発見したり、
みんなで網も引いたよ。たくさんの魚がいたので
うれしかった。
その場で焼いて食べるとやっぱりおいしいねえ～



わたしたちの川 ものべ川



さおりが原から出発した物部川のきれいな水が
海まで流れていくように、これからいろいろな
活動をして、物部川を知り、ゴミのないきれ
いな川になるよう、自分ができることを考え
行動していきたいと思います。

(5) 成果と課題

毎年度末、子どもたちへのアンケート調査を行い、総合的学習の成果と課題を明らかにし、実践の積み上げや見直しを行っている。

子どもたちは「知りたいこと」「やってみたいこと」を存分に体験し、総合的学習を楽しんでいる。地域で活動するほどに「地域の人やさしさ」にふれ、物部川を宝物と呼び始めている。また、報告会などを通して、友だちや自分のことが見え互いに声をかけ合う姿も見られる。

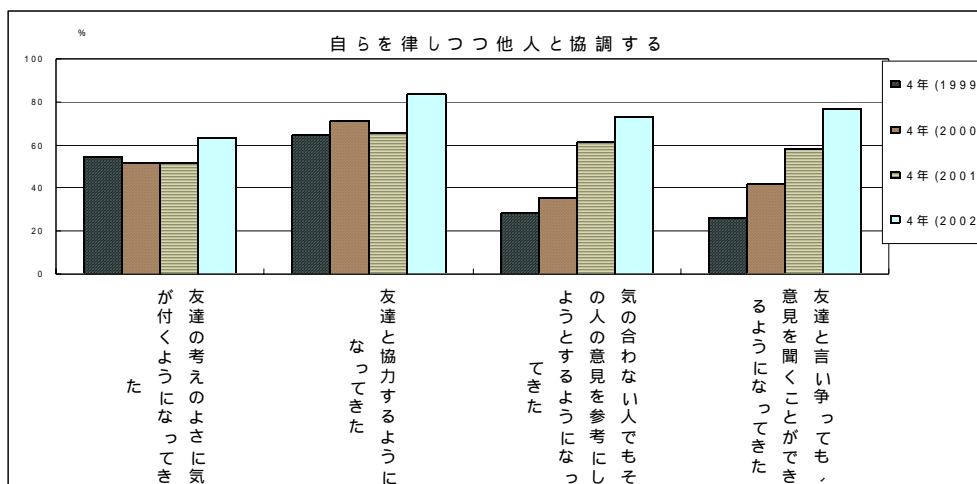
子どもたちの中に自分のよさや友だちのよさをに気づき周りや協調して学びあうという姿勢が育ってきていると思われる。

「自分から課題を持って学習することの大切さや楽しさ」

「友だちから学ぶ良さ、そして、共にのびる喜び」

を感じているのではないだろうか。

これからも、子どもたち一人一人の十分な体験活動を通して、子どもをゆっくりと見守り、子どもと共に動き・考え、共に作り上げ、共に伸びていく総合的学習を創造していきたい。



〔アンケート結果一例〕